

東 近 江 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開 催 日 時	令和3年6月24日（木）午後3時30分～午後5時15分
開 催 場 所	東近江警察署 別館3階会議室
出 席 者	委 員 榎本恵理委員、服部学委員、奥村育子委員、川添頼昭委員、黒川あい委員、坪倉美代子委員、上嶋正之委員、成宮吉明委員
	警 察 署長、副署長、調査官兼警務課長兼警備課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、愛知川警部交番所長、日野警部交番所長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警務係長
議 事 概 要	<p>1 委嘱状の交付</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>今年度最初の協議会であるが、昨年に続き新型コロナウイルス感染症により警察業務も様々な影響を受けている。また、警察を取り巻く情勢も年々変化しているほか、働き方改革など警察組織の変革も求められている中、署員一同一丸となって日々の業務に取り組んでいるところである。</p> <p>委員の方々には、警察署の諮問機関として、ぜひこの機会に意見、要望、叱咤激励など警察業務について感じていることを積極的に述べていただきたい。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 警察署協議会の概要説明</p> <p>5 会長選出及び副会長指名</p> <p>委員の互選により、会長に榎本委員が選出され、同会長の指名により服部委員が副会長に決定した。</p> <p>6 会長挨拶</p> <p>協議会委員5年目になるが、時代の変化がめまぐるしい中、地域住民のために活動する東近江警察署員の方々の仕事には敬意を表す。この協議会の目的は、民意の反映であると伺っているが、警察の仕事が地域住民にとって更に質の高いものにしていくために、警察と地域住民との橋渡しになるよう、服部副会長を始め委員の方々の力を借りて発展的な協議会にしていきたい。</p> <p>7 副会長挨拶</p>

前期の2年間、委員を務め、警察の仕事について知ることができ大変勉強になった。今回、副会長に指名されたが、これまでの経験を踏まえて務めさせていただくので、委員の方々の協力をよろしく願います。

8 議事

(1) 議題「管内情勢・業務推進状況」について

ア 署長から、議題について、

- ◇ 管内概況
- ◇ 犯罪の発生状況
- ◇ 交通事故の発生状況
- ◇ 防犯・交通関係の主な取組

の項目に沿って説明があった。

イ 意見、質疑、要望

(委員)

コロナ禍の中で飲酒の機会は減っていると聞くが、それでも飲酒運転は多いのか。

(警察)

コロナの影響が飲酒運転の発生にどれだけ及んでいるのか数字では出ていないが、飲酒運転をするような者は、その多くがコロナ禍は関係ないと考えていると思われることから、飲酒運転取締りは引き続き強化していく必要があると認識している。

(委員)

特殊詐欺の被害について、被害者が犯人からの指示に何度も従ってしまう原因は何なのか。それを防ぐための取組はどうしているのか。

(警察)

犯人側が、事前に口止め工作を行っているケースが多い。これを防ぐために、家族など身近な人が、被害者の様子が少しでもおかしいと感じたら、積極的に警察に相談するように呼び掛けている。

(委員)

最近、自分の携帯電話に何らかの理由を付けて電子マネーの購入を求めメールが送られてくるが、これも詐欺になるのか。

(警察)

詐欺である。そうしたメールは無視し、決してメールを開いたり、返信

したりしないよう注意するとともに、身近な人にもそのように知らせてほしい。

(委員)

詐欺メールの発信元を突き止めることはできないのか。

(警察)

犯罪メールの多くは海外のサーバを経由して送られており、海外のサーバに対する捜査は、サーバが設置された国の捜査機関に依頼することになる。

(委員)

詐欺メールが届くこと自体を防ぐなどの有効な対策はないものか。

(警察)

迷惑メールが届かないようにするには、セキュリティを高めたり、フィルタリングをするなどの防止策を各自が講じるよう教示しているところである。

(委員)

何度も電子マネーを購入し、700万円近くの被害に遭った事件について、発覚したきっかけは何だったのか。

(警察)

家族が被害者の行為を不審に思い被害者に確かめたことで発覚したものである。

(2) 議題「職員がいきいきとやりがいを持って働ける職場環境をつくる取組」

ア 調査官（警務課長）から、

- ◇ 健康管理対策
- ◇ 時間外労働の縮減
- ◇ 互いに支え合うワークライフバランス等の推進

の項目に沿って説明があった。

イ 意見、質疑、要望

(委員)

私たちの世代は、結婚すれば親と同居し、辛抱が当たり前の時代であったが、核家族化が進み、共働きを後押しできる仕組みが充実してきたことはありがたい事だと思う。

(委員)

日本は、世界と比べて女性の進出が遅いと言われるが、今の若い世代は男女同権という教育を受けて育っているのです。従来 of 封建的な考え方では受け入れられないという実情を我々が認識し、若者が働きやすい環境を整備していくのが我々の責任であると認識している。

(委員)

時間外労働の縮減は、刑事など業務の内容によって実現が厳しいところがあると思うがいかがか。

(警察)

実際に現場と事務、警察本部と警察署とでは時間外労働に差が生じている。特に警察署の捜査部門は、事件に振り回されることが多々あるので、当直明けの日は早く帰るという事実を積み上げ、そうした意識を更に醸成させることで時間外労働の縮減につなげていきたい。